

北海道支部

爽やかな秋風が吹き抜ける10月26日、「札幌市民交流プラザ」にて秋の行事「ポーセラーツ制作体験」を開催しました。



当日は10名の同窓生が参加し、芸術の秋にふさわしい創造性と知的好奇心を満たすひとときを過ごすことができました。今回

体験した「ポーセラーツ」は、白磁に転写紙を自由に貼り付け専用の窯で焼き上げること、世界に一つだけのオリジナル食器を完成させるハンドクラフトです。講師には長崎県波佐見町の窯元のご出身で、現在は「アトリエRuRu」を主宰されている村上留美子先生をお迎えしました。

冒頭、村上先生からご自身とポーセラーツとの出会いについてのお話を伺いました。伝統ある陶磁器の背景を持ちながら、現代的なクラフトへと情熱を注がれるまでの歩みはとても興味深く、引き込まれました。先生のお話を通じて、



参加者一同ポーセラーツに強い関心を抱きながらのスタートとなりました。

初めて挑戦したポーセラーツは、15センチ四方のタイル制作でした。数多くある転写紙の中から、好きなデザインを選び抜き、構図を考えながらシールをカットして貼り付けていく作業は、本気になって集中できる時間でした。専用のヘラで、白磁との間に残る空気や水分を丁寧に抜いていく工程は、繊細な集中力を要しますが、村上先生の的確なアドバイスのおかげで、終始和気あいあいとした雰囲気になりました。細かな修正には先生のプロの技を拝借しつつ、クリスマスやお正月を彩る飾りタイル、さらにはブローチや帯留めといった趣向を凝らした作品が次々と形づくられていきました。制作がひと段落した後のサウンドイッチやお菓子を囲んだのランチタイムは、自らの手でデザインを表現する喜びにあふれていました。

後日11月29日には「作品鑑賞&茶話会」を催しました。焼き上がった完成品を鑑賞しながら、感想や飾る楽しみを共有できる時間は、とても豊かなひとときでした。

今後より多くの同窓生が集い、交流を深められるような魅力的な行事を企画していきたいと考えております。

平9 E 熊谷 美穂

東北支部

岩手県部会

10月20日、スイーツの甘い匂いと紅茶の香りに包まれながら「ホテルメトロポリタン盛岡」にて第22回岩手県部会総会を開催しました。ハロウィンのアフタヌーンティーはオードブルから始まり、2段重ねのスタンドの上的軽食サイズのタルトやスコーン、ミニケーキなど、口に入れるのがもったいないくらい可愛らしい見た目が、青短同窓生にピッタリ！今年度は東北支部総会の開催県ということもあり、話題も課題も山盛りでしたが、さすが女子！最後のラズベリーシャーベットまでしっかりと「ヌン活」を楽しみました。

秋田県部会

10月10日、初代県部会会長杓沢豊子さん(27日)をお誘いして、有志で昼食会を開きました。数日前に小玉喜久子前県部会会長(33日)が県文化功労賞を受賞したこともあって話が弾み楽しい時間を過ごしました。戦後から現代まで、渋谷の変遷や寮の話などを伺いながら、あつという間に過ぎた2時間でした。ぜひまた機会を作りお会いしましょうと話をしてお別れしました。

49 J 鎌田由紀子(宮本)

山形県部会

11月15日に校友会山形支部主催の行事があり、午前中は企業訪問で「天童木工」の見学と午後は「新蕎麦と芋煮

を食する会」が催され、同窓会からも参加しました。11月27日には役員皆さまと食事会を行いました。

宮城県部会

宮城県部会は県部会総会を毎年4月に開催しています。打ち合わせはほとんどオンラインで行っていますが、9月17日に女川で今後の運営のための役員会を行いました。11月の仙台での校友会仙台支部総会には同窓会から4名参加しました。

福島県部会

10月28日、新年会と総会に向けて打ち合わせ会を行いました。毎回楽しい集まりです。

青森県部会

10月18日、青森市で校友会青森支部総会と懇親会が開催され、同窓会から3名出席しました。2023年、青森市長の西秀記さんが青森県支部長に就任され、今年度は八戸で開催することが決定しました。11月22日に青森県部会総会とランチ会を八戸で行いました。出欠の返信を二次元コードで試みましたが返信が少なく、今後の案内方法や東北支部総会開催についてなど話し合いました。



52 C 西館 桂子(中村)